

みよし市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画

みよし市

1 促進計画の区域

別紙地図に記載のとおりとする。

2 促進計画の目標

1. みよし市地域

(1) 現況

本市は、愛知県のほぼ中央に位置し、名古屋市や豊田市などの都市部に隣接する都市近郊型農業地域である。市域の約3割を農地が占めており、水稻及び梨・柿・ブドウなどの果樹栽培を中心とした農業が展開されている。特に果樹については、地域の特産品として市民に親しまれているほか、観光農園や直売所を通じて都市住民との交流の場ともなっている。

近年、都市化の進展に伴い農地の宅地化や担い手不足が進行しており、耕作放棄地の増加が懸念されている。一方で、農地やため池、里山などの農業資源は、環境保全や防災、地域コミュニティの形成など、農業の有する多面的機能を発揮する重要な役割を担っている。

(2) 目標

(1)を踏まえ、本地域では、農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律（平成26年法律第78号。以下「法」という。）第3条第3項第3号に掲げる事業を推進し、多面的機能の発揮の促進を図ることとする。

3 法第6条第2項第1号の区域内においてその実施を推進する多面的機能発揮促進事業に関する事項

実施を推進する区域	実施を推進する事業
みよし市全域	第3条第3項第3号に掲げる事業

4 法第6条第2項第1号の区域内において特に重点的に多面的機能発揮促進事業の実施を推進する区域を定める場合にあっては、その区域

設定しない。

5 その他促進計画の実施に関し市町村が必要と認める事項

なし。